

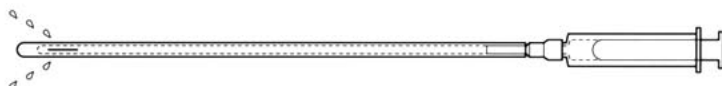
OM-マックシャント使用上の注意

乾燥したシリコンラバーは自己癒着性があるため、腹膜カテーテルのスリットバルブ及びマックバルブの圧コントロールバルブの先端部が癒着している場合があります。

ご使用前に必ず下記の機能チェックを行なって下さい。

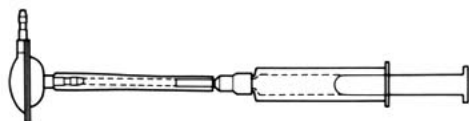
1. 腹膜カテーテル（ホワイトライン）のスリットバルブ機能チェック

開口端から滅菌生理食塩水を注入し、スリットバルブより滅菌生理食塩水が均一に流出するのを確認してからご使用下さい。

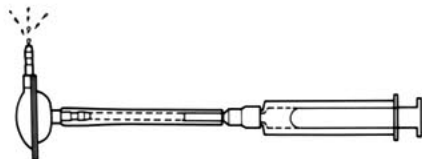


2. マックバルブの圧コントロールバルブ機能チェック

- ① シリンジに滅菌生理食塩水を満たします。
- ② マックバルブのインレット側に補助チューブを接続し、滅菌生理食塩水を注入します。
(圧コントロールバルブの先端が開かない場合はシリンジを強く押し込んで滅菌生理食塩水を注入して下さい。)



- ③ マックバルブのアウトレット側から滅菌生理食塩水が流出するのを確認してからご使用下さい。



3. マックバルブのフラッシング機能チェック

マックバルブのフラッシング機能の確認は、脳室カテーテル、腹膜カテーテルを接続した状態で行なって下さい。腹膜カテーテルを接続しない状態でフラッシングを行なっても水は吸い上がりませんのでご注意下さい。

